

# 2017年度 環境活動レポート

## 環境方針

1. 経営理念
2. 環境方針

## 会社概要

1. 事業者 及び 代表者名
2. 所在地
3. 事業内容
4. 事業規模

## 組織体制

1. 環境管理責任者
2. 組織体制

## 環境目標

## 環境への取組

## 取組実績と評価



株式会社 大西熱学

# 環境方針

## 1. 基本理念

私たちは環境保全への取り組みが経営課題であると認識し、主要製品である環境試験装置、カロリーメータ、クリーンルーム、一般空調装置、無響室などの設計、製造、販売及びメンテナンスを通じて広く社会の環境技術革新に寄与するとともに、持続可能な社会の発展に貢献します。また、温暖化防止対策や廃棄物対策などにより、製品の環境負荷低減に努力します。

## 2. 環境方針

- 製品並びにサービスが与える環境影響を自覚し、その改善を図ると共に汚染を予防します。
- 環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
- 当社に適用される環境関連法規、自主基準及び同意するその他の要求事項を守ります。

# 会社概要

## 1. 事業者 及び 代表者名

株式会社 大西熱学  
代表取締役社長 大西 康仁

## 2. 所在地

東京都墨田区緑1-19-9

## 3. 事業内容

環境試験装置、各種カロリーメータ、クリーンルーム、バイオ関連装置、各種恒温恒湿槽、超低温装置、VOC測定装置、CO2オイル循環率測定装置、冷凍冷蔵装置、冷暖房・給排水衛生設備、空調関係機器等

以上に関する諸装置の設計、製作、工事の請負、販売、サービス業務等の一切の関連事業、コンピューターソフトの開発・販売

## 4. 事業規模

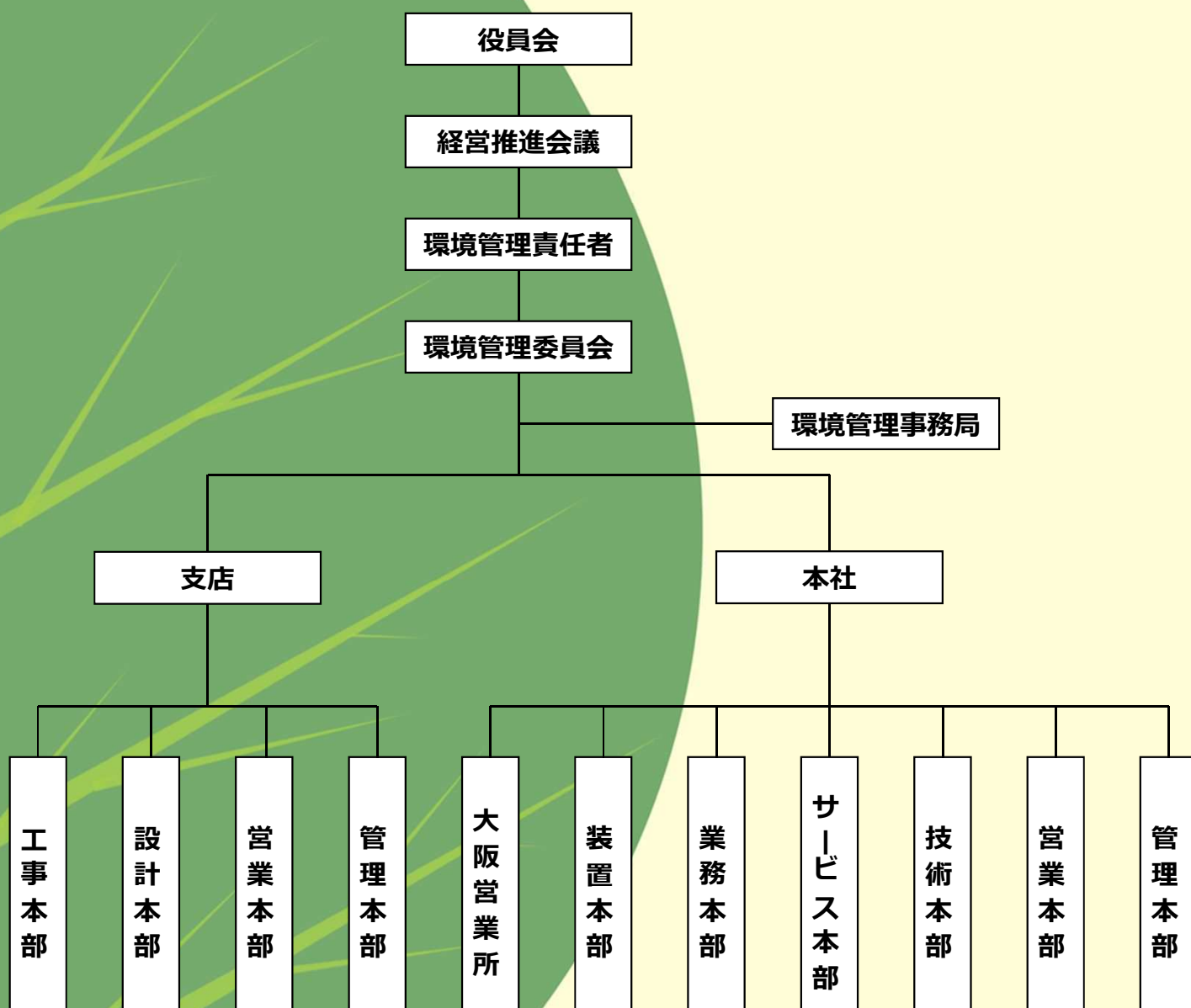
資本金	1億円
売上高	92億円
事業所	中部支店 大阪営業所、土浦営業所、静岡営業所 小牧事業所、サービスセンター
社員	白井工場 253名

# 組織体制

## 1. 環境管理責任者

- 1) 環境管理責任者 田中 成知
- 2) 連絡先 環境管理事務局  
TEL : 03-5625-0024  
FAX : 03-5625-0026

## 2. 組織体制



# 環境目標

## 1. 社員に対して環境教育を実施する

2. 電気使用量	2015年度比	3%	削減
3. 水道使用量	2015年度比	1%	削減
4. ガソリン使用量	2015年度比	3%	削減
5. ゴミ排出量	2015年度比	3%	削減
リサイクル率	2015年度比	3%	向上

# 環境への取組

## 1. 社員教育

- 環境社会検定（eco検定）の取得推進
- 環境取組企業への視察
- 結果のビジュアライズ

## 2. 電気使用量削減

- 蛍光灯の計画的交換（省エネタイプ）
- 省エネタイプのO A 機器を推進
- 空調の設定温度（冷房時26℃以上、暖房時22℃以下）遵守  
-風量を強風設定にし、設定温度を守る
- クール・ビズ／ウォーム・ビズ

## 3. 水道使用量削減

- 炊事場、洗面台、洗濯機、トイレなどにおける節水の励行

## 4. ガソリン使用量削減

- 車両入替時にハイブリットカーおよびエコカーの導入
- エコドライブの徹底
- 公共交通機関の使用促進
- ライドシェアリング(相乗り)の促進

## 5. ゴミ排出量削減 リサイクル率向上

- ゴミ分別化の徹底（分別表の活用促進）
- 回覧物等の電子化促進
- 紙ベースのカタログ、資料などの受領削減（ネット配信利用促進）

# 取組実績と評価 (1)

## 1. 目標に対する実績・評価

### 1) 社員教育

- ① 環境社会検定取得推進 合格者 20名 / 取得者合計 48名
- ② 電気、ガソリン、水道使用量、ゴミ排出量を定期的に社内ネットにて公開  
結果のビジュアライズとして数値を物の量に置き換えて報告  
※各使用量はP.6,7に記載
- ③ 環境関連イベントへの参加、および講習会、セミナー
  - 2017年自然科学教育センターシンポジウム「気候変動と日本」(2017年9月)
  - 工場見学 アサヒビール守谷工場(2017年10月)
  - 2017「国民参加の森林づくり」シンポジウム(2017年10月)
  - 展示会 エコプロダクツ2017(2017年12月)
  - 平成29年度 冷凍関係法規集 第58次改訂を読み解く！(2018年2月)

### ④白井工場スマートメータ(日本テクノ)導入計画

# 取組実績と評価 (2)

	電気使用量 (kWh) [Co2換算値] (kg-Co2)	水道使用量 (m3) [Co2換算値] (kg-Co2)	ガソリン使用量 (ℓ) [Co2換算値] (kg-Co2)	ゴミ排出量 (kg)	リサイクル量 (kg) [リサイクル率] (%)
2013年度	508,364 [ 206,396 ]	2,254 [ 811 ]	155,816 [ 361,493 ]	39,419	9,860 [ 25.0% ]
2014年度	487,098 [ 254,265 ]	2,444 [ 880 ]	158,661 [ 368,094 ]	39,494	9,811 [ 24.8% ]
2015年度	468,502 [ 232,377 ]	1,850 [ 666 ]	159,207 [ 369,360 ]	38,658	11,928 [ 30.8% ]
2016年度	414,295 [ 203,419 ]	1,756 [ 632 ]	149,778 [ 347,484 ]	32,419	12,582 [ 38.8% ]
2017年度	446,321 [ 219,144 ]	1,611 [ 580 ]	156,360 [ 362,755 ]	32,280	10,735 [ 33.2% ]
削減率 2015年度比	-4.7%	-12.9%	-1.8%	-16.5%	2.4%

- ※ 対象事業所 : 本社、SC、白井工場、土浦営業所、大阪営業所、中部支店、小牧事業所、静岡営業所
- ※ 電気使用量 : 東京電力株式会社 CO2排出係数を使用
  - ・2015年度 0.496
  - ・2017年度 0.491
- ※ リサイクル率 = リサイクル排出量÷ゴミ排出量



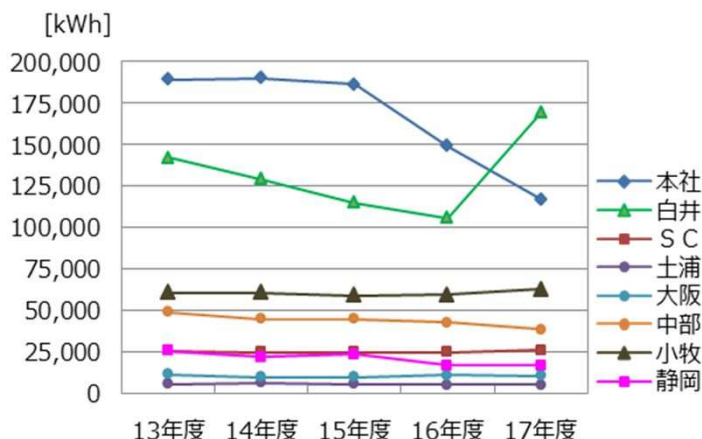
# 取組実績と評価 (3)

## ◎ 年度別グラフデータ

### ① 電気使用量

2015年度比3%の削減目標に対し、  
**4.7%の減少**

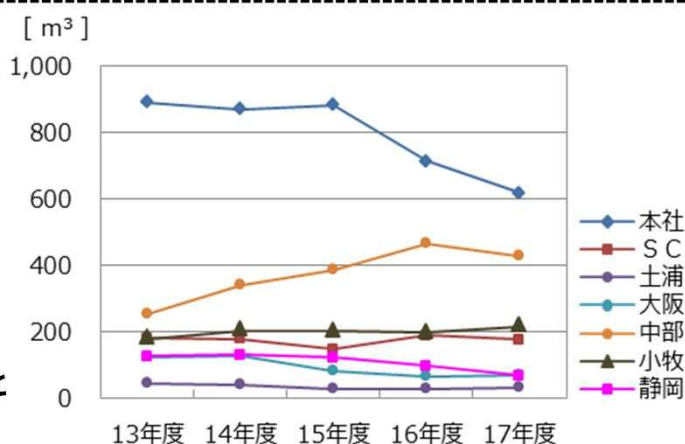
- 全体では削減目標達成。
- 工場のアコンの導入により白井工場は大幅に増加。



### ② 水道使用量

2015年度比1%の削減目標に対し、  
**12.9%の減少**

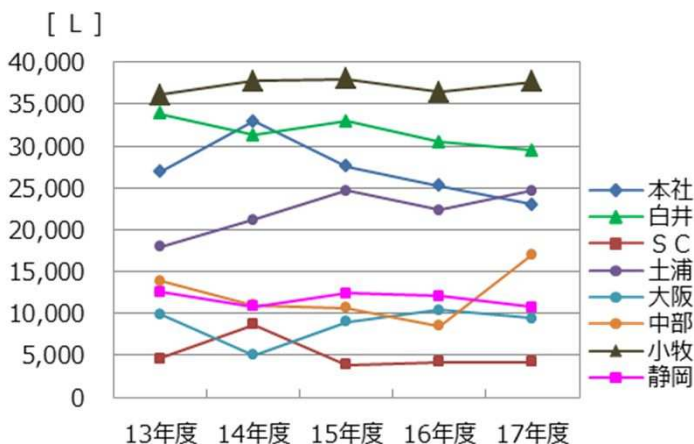
- 全体では削減目標を達成。
- 本社・静岡営業所移転により水道使用量が大幅に改善した。
- S C・大阪営業所は10%以上の増加となった。



### ③ ガソリン使用量

2015年度比3%の削減目標に対し、  
**1.8%の減少**

- 全体は削減目標未達。
- 中部支店では60%と大幅に増加した。



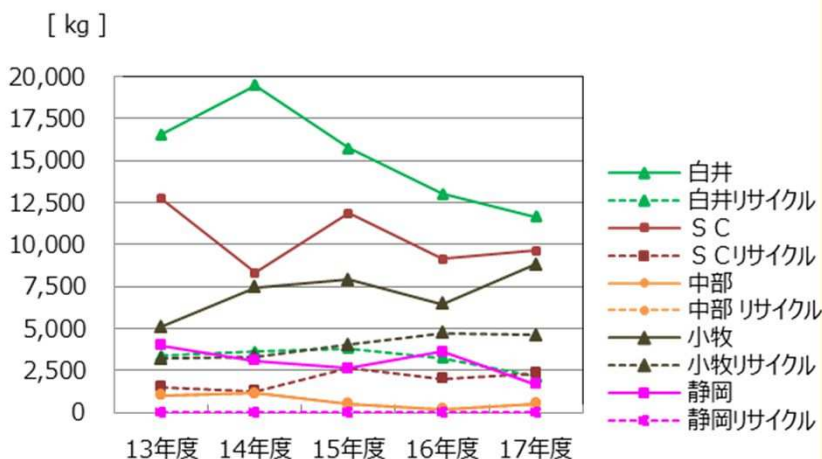
### ④ ゴミ排出量

2015年度比3%の削減目標に対し、  
**16.5%の減少**

### ⑤ リサイクル率

2015年度比3%の向上目標に対し、  
**2.4%の向上**

- ゴミ排出量は削減目標を達成したが、リサイクル率は未達となった。



# 取組実績と評価（4）

## 3. 活動結果の評価・改善策

### 1) 活動結果

2017年度はガソリン使用量と、廃棄物のリサイクル率で目標を達成する事が出来なかった。

電気・水道使用量は昨年に引き続き大幅改善となった。

本社の移転が2016年夏であった為、その影響で数字上は大きな改善として表れている。

白井工場では工場内の空調を新設した為、電力使用量が大幅な上昇となった。

対策として2018年5月には電力消費量を見える化する「スマートメーター」を導入

今後の改善が期待される。

ガソリン使用量は大きく増加しているが、2017年度は中部支店の売上結果が良く事業活動が活発だった為である。

ごみ排出量・リサイクル率では、白井工場が去年に引き続き大きな削減を達成している。

項目では一般廃棄物での改善が大きい為、一人一人の意識改善の効果だと推察される。

### 2) 改善項目

目標・取組み内容の分析・検討

・結果および現状を分析し、取組み内容を見直しをする。

・例年、継続して削減出来ている事業所の取組み内容を分析し他の事業所に展開する。

# 取組実績と評価（5）

## 4. 環境関連法規等の遵守状況

分類	環境法規の名称	分類	環境法規の名称
	環境基本法	エネルギー	エネルギーの使用の合理化に関する法
大気	大気汚染防止法	化学物質	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法
水（取水）	工業用水法		P R T R 法
	ビル用水法		フロン回収破壊法
水（排水）	水質汚濁防止法		P C Bを含む廃棄物の処理対策について
	下水道法		P C B廃棄物特別措置法
	浄化槽法	毒物及び劇物特別措置法	
土壌	土壌汚染対策法	危険物・ガス	消防法
騒音	騒音規制法		高圧ガス保安法
振動	振動規制法	立地・組織	工場立地法
悪臭	悪臭防止法		特別工場における公害防止組織の設備に関する法律
廃棄物・リサイクル	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<b>状況</b>	● 環境関連法規への違反はありません。
	包装容器リサイクル法		● 遵守事項における当社での評価も問題ありません。
	家電リサイクル法		● 関係者当局よりの違反等の指摘及び近隣よりの苦情は過去3年間ありません。
	食品リサイクル法		● 実施施工した現場において、建設リサイクル法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適正に処理を行いました。
	建設リサイクル法		
	自動車リサイクル法		

# 取組実績と評価（6）

## 5. 総評

環境活動を始め13年、自己宣言から6年が経ちます。

環境活動において社員一人一人が取組目標を理解し活動されております。しかしながら、2017年7月には白井工場作業エリアに作業環境改善を目的として、空調設備を導入した結果、電気使用量が大幅にUPされました。本年度は白井工場にスマートメータを導入しまして電気使用量の見える化を行ない、目標値を達成出来るように各自が意識を高めて努力下さい。

2017年度は全社としまして、ガソリン及びリサイクル率で削減目標が未達成となりました。特に中部支店の仕事量が増えてガソリン使用量が2015年度比、60%と大幅な上昇となっています。各自の意識を高めてエコ運転の励行、駐車時のアイドリングストップなどに努めて目標が達成できるようにして下さい。また、白井工場におけるリサイクル率の低下が大きくなっています。原因を追究してリサイクル率の向上を徹底して下さい。SC、大阪営業所は水道使用量の2015年度比10%以上増加しています。原因を確認し、節水を心掛けて使用量の改善をお願いします。

ここ数年、Eco検定合格者が増えてきました。環境管理に対する社員の意識も向上していると思います。さらに多くの社員がEco検定を取得し環境への意識をさらに向上させて、環境活動への積極的な取り組みを行い、目標を達成するよう努めてください。

2018年6月30日

代表取締役社長 大西 康仁